

# 5月健康スマイル教室 「在宅酸素の取り扱い方」

開催日：平成26年5月19日 講師：呼吸器内科医師 岩本信一

## \*在宅酸素療法とは…

健康を維持するのに必要な酸素を十分に取り込めない**高度慢性呼吸不全**などの患者様が、医師の処方により在宅で酸素吸入を実施するものです。

## \*在宅酸素療法の目的…

酸素吸入をしながら趣味を楽しんだり、自由に外出したり、仕事をしたり、生きがいのある生活を送りながら療養を行うことができる。

## \*適応基準…

- ・高度慢性呼吸不全例のうち、在宅酸素療法導入時に動脈血酸素分圧 55 mmHg 以下の者
- ・動脈血酸素分圧 60 mm Hg 以下で睡眠時又は運動負荷時に著しい低酸素血症をきたす者であって、医師が在宅酸素療法を必要であると認めた者

## \*在宅酸素療法の効果…

入院回数を減らすことができる、活動的になれる、生きがいのある生活をおくることができる、長生きできる、息切れの改善、心臓への負荷を軽減、記憶力・注意力低下の改善など。

## \*酸素濃縮器設置の条件



## \*酸素ボンベ取扱い上の注意点…

- ・強い可燃性をもつ気体に近づけない
- ・火気・油脂厳禁・直射日光が当たる場所や高温になる場所に放置しない
- ・転倒・落下などの衝撃を与えない

酸素ボンベ使用時間（連続の場合）  
＝ボンベ容量（L）÷処方流量（l/分）

※呼吸同調器の使用で、使用時間が約3倍程度長持ちします

担当：5階病棟看護師 山根実香